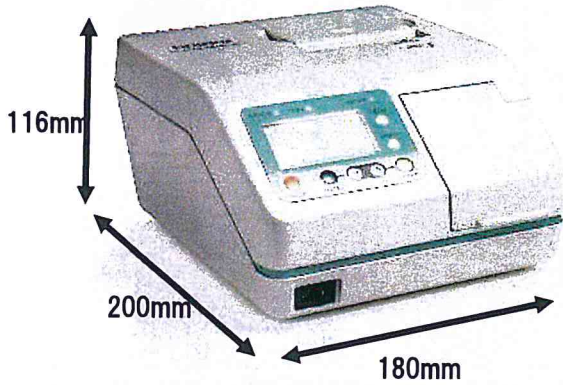


デンシトメトリー分析装置

富士ドライケム IMMUNO AG1



コンパクト! A5サイズ

富士フィルムから 感染症検査に新しいご提案!

写真現像の銀増幅技術により
イムノクロマト法を高感度化。

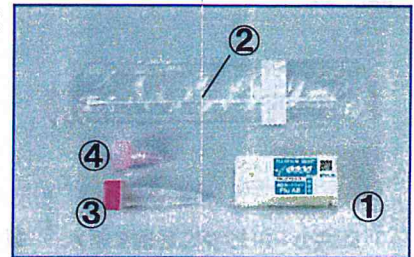
インフルエンザウイルスキット

富士ドライケム
IMMUNO AG
カートリッジFluAB

専用試薬
10テスト/箱 13,000円

キット内容

- ①試薬カートリッジ
- ②滅菌綿棒
- ③抽出液
- ④フィルター



*実施料150点、判断料144点の保険点数がご請求できます。

富士ドライケムIMMUNO AG1 ご導入でこんな問題解決します。

(例)一般的な検査キットの場合

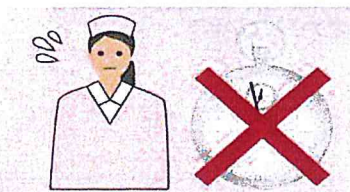
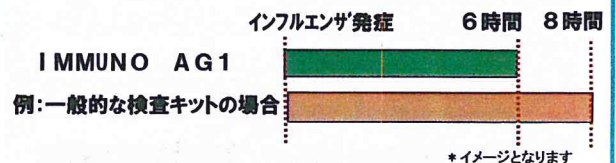


ポイント

高感度化の実現によりインフルエンザ
発症初期での診断精度が向上します。

*発症とは
37.5度以上の発熱となります。

陽性判定で一般的な検査キットと有意差の出る時間



時間管理が不要



目視による判定誤差の解消

ポイント

装置が自動判定してくれるから
検査の手間を軽減できます!

自分で判断しなくていいから安心!

検査結果が記録されるから取り違いや
ミスの発生が防げます

プリンター内蔵で再プリントも可能。

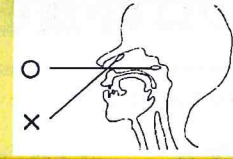
2ステップでの簡単操作で自動判定

①検体採取

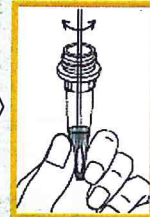


綿棒で鼻腔ぬぐい液を採取

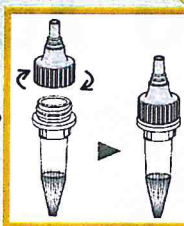
キット付属の綿棒で鼻腔内のウイルスを採取。



抽出液につけて
ウイルスを回収。



フィルターを装着。



付属の綿棒は
やわらかくて
小さなお子さんにも
とってもやさしい。



②自動で簡単!



試薬カートリッジに名前を記入



試薬カートリッジに検体を
4滴落とします。

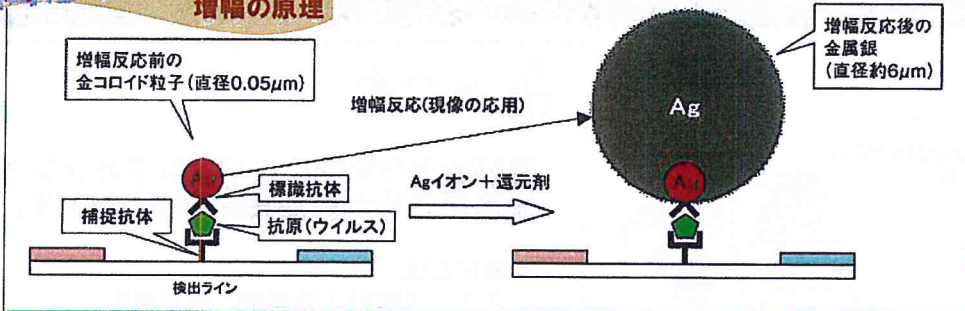


試薬カートリッジを装置にセット。
最短3分30秒で読み取り可能。

2011/10/28 フジ
14:21
F04DEM01
FLU A: (+)
B: (-)

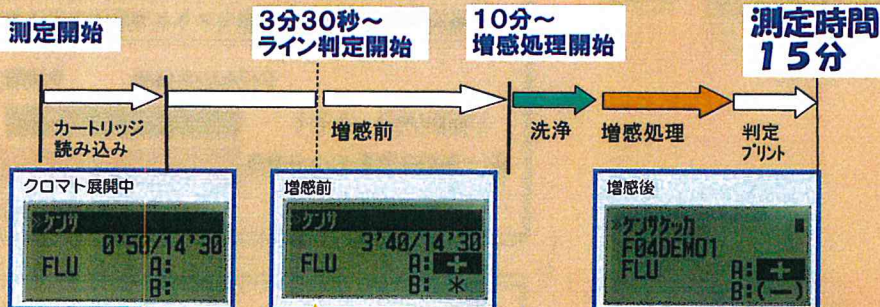
自動で結果をプリントアウト
名前が記録され、結果の
再プリントも可能。

高感度のひみつ 増幅の原理



標識に用いる金コロイド粒子を
写真技術の応用で大きさを
約100倍に増幅!
検出感度を飛躍的に向上できました。
さらにAG1本体で読み取りを行う
ので客観的な判定が可能。
プリントアウトまでを自動化、検査の
手間を軽減できます。

目視判定の個人差
ばらつきを軽減に
つながります!!



*3分30秒からライン読み取りを開始し、判定がこの時点で出ている場合はAG1本体のランプとブザー音でお知らせします。ここでSTOPボタンを押せば、検査を中断させ結果をプリントアウトすることが可能です。

測定開始10分でライン検出でき
ない場合は、洗浄作業を自動的に
開始。
カートリッジ内の洗浄液でノイズを
除去します。
その後、残った標識を銀で増幅。
検出ラインを強調し、AG1本体で
高感度に読み取りを行います。

富士フィルムが長年培った
画像処理や高感度検出技術が
活かされています。

■主な仕様	
測定項目	インフルエンザウイルスA/B
測定対象	鼻腔ぬぐい液、鼻腔吸引液
処理速度	カートリッジ挿入から15分 ※約3.5分からライン読取開始
プリンター	内蔵(感熱方式)
電源	100V 専用ACアダプタ
外形寸法	180(幅)×200(奥行)×116(高さ)mm
重量	約1.8kg

ご用命は下記販売店まで